

令和元年度 ISO/TC272 国内審議委員会報告

Report of ISO/TC 272 National Committee Activity in 2018

大澤 資樹 (ISO/TC272 国内審議委員会委員長 東海大学医学部基盤診療学系法医学 教授)

Motoki Osawa MD, PhD (Chairperson of ISO/TC272 National Committee, Professor of Forensic Medicine, Tokai University School of Medicine)

1. 国内検討委員会構成メンバー (資料 I 参照)
委員 26 名
(MASM), Philippines (BPS), Portugal (IPQ), Romania (ASRO)
2. ISO/TC 272 の概要
 - 1) 名称: Forensic Science (法科学)
 - 2) 議長: Linzi Wilson-Wilde (豪州・Standards Australia (SA))
 - 3) 幹事国: 豪州 (SA)
 - 4) 事務局: Kylie Schumacher (SA)
 - 5) 日本国事務局: 日本産業標準調査会 (JISC) / 日本臨床検査標準協議会 (JCCLS)
3. 加盟国 (加盟国標準機関名略称)
 - 1) P-メンバー国: 22 か国
Australia (SA), Austria (ASI), Belgium (NBN), Canada (SCC), Denmark (DS), Egypt (EOS), France (AFNOR), Germany (DIN), Hungary (MSZT), Italy (UNI), Japan (JISC), Mexico (DGN), Netherlands (NEN), New Zealand (NZSO), Russian Federation (GOST R), Serbia (ISS), Singapore (ESG), Spain (UNE), Sweden (SIS), Switzerland (SNV), United Kingdom (BSI), United States (ANSI)
 - 2) O-メンバー国: 15 か国
Argentina (IRAM), Bulgaria (BDS), China (SAC), Cyprus (CYS), Czech Republic (UNMZ), Finland (SFS), Islamic Republic of Iran (ISIRI), Republic of Korea (KATS), Republic of Moldova (ISM), Malaysia (DSM), Malta (MCCAA), Mongolia
- 3) リエゾンメンバー:
 - (1) ISO/IEC 内委員会: 7 委員会
ISO/CASCO, ISO/IEC JTC 1/SC 27, ISO/IEC JTC 1/SC 37, ISO/TC106/SC 3, ISO/TC 171/SC 2, ISO/TC 276, ISO/TC 292
 - (2) ISO/IEC 以外の国際団体
ILAC
4. 2019 年度審議作業 (資料 II 参照)
 - 1) ISO/TC272 作業項目と進行状況
 - (1) ISO 18385: 2016 Minimizing the risk of human DNA contamination in products used to collect, store and analyze biological materials for forensic purposes-Requirements 「法科学目的の生物試料 (資料) を収集、保管と分析する為に使用する製品におけるヒト DNA 汚染のリスクの最小限化-要求事項」
 - (2) ISO 21043-1 Forensic Sciences-Part 1: Terms and definitions 「法科学-第 1 部: 用語と定義」
* IS
 - (3) ISO 21043-2 Forensic Sciences-Part 2: Recognition, recording, collection, transport and storage of material 「法科学-第 2 部: 試料 (資料) の確認、記録、収集、輸送と保管」
 - (4) ISO 21043-3 Forensic Sciences-Part 3: Analysis 「法科学-第 3 部: 分析」

- (5) ISO 21043-4 Forensic Sciences-Part 4 : Interpretation 「法科学－第4部：解釈」
- (6) ISO 21043-5 Forensic Sciences-Part 5 :
- (7) ISO/PWI 24436 Breath alcohol concentratio 「呼気アルコール濃度」

5. 国際会議

1) 第12回総会、WG会議

- (1) 開催日：2019年5月20日－24日
- (2) 開催地：セントルイス（セントルイス・ステーション・ホテル）
- (3) 参加国、参加者：43ヶ国32名
大澤委員長、宮地副委員長が参加。
- (4) 審議内容：ISO/NP 21043-3、ISO/NP 21043-4、ISO/NP 21043-5に寄せられたコメントについて逐条的に審議した。

2) 第13回総会、WG会議

- (1) 開催日：2019年11月18日－22日
- (2) 開催地：シンガポール（Health Science Authority）
- (3) 参加国、参加者：15ヶ国38名
大澤委員長、宮地副委員長、橋谷田委員が参加。

- (3) 審議内容：ISO/WD 21043-3、4、5について寄せられたコメントを審議した。日本からの新規プロジェクト提案 ISO PWI 22436 Breath Alcohol Concentration のプレゼンを実施。

6. 国内審議委員会開催と活動状況

1) 国内審議委員会

Reporting 「法科学－第5部：記録」

- (1) 令和元年度第一回 ISO/TC272 国内審議委員会を2019年7月3日開催。委員12名、オブザーバー5名（アルコール検知器協議会4名、経産省1名）、事務局1名が出席。第12回 ISO/TC272 セントルイス総会・WG会議参加報告に続き、ISO 18385規格の改訂および日本提案呼気ガス中アルコール濃度測定の国際標準化提案について審議した。
 - (2) 令和元年度第二回 ISO/TC272 国内審議委員会を2019年10月23日開催。委員15名、オブザーバー（経産省）2名、事務局1名が出席。ISO/PWI 24436「呼気アルコール濃度」規格原案の作成およびISO 18385規格の改訂について審議した。
 - (3) 令和元年度第三回 ISO/TC272 国内審議委員会を2020年2月6日開催。委員13名、オブザーバー（経産省）1名、事務局1名が出席。第13回 ISO/TC272 シンガポール総会・WG会議参加報告に続き、第14回 ISO/TC272 コペンハーゲン総会・WG会議の対応とISO/PWI 24436「呼気アルコール濃度」の内容およびISO 18385規格の改訂に伴う技術データ収集について審議した。
- 2) 経済産業省へ平成31年度成果報告と令和2～4年度活動計画を提出、委託事業が採択された。

資料 I

職名	氏名	所属
委員長	大澤 資樹	東海大学医学部基盤診療学系法医学
副委員長	宮地 勇人	東海大学医学部基盤診療学系臨床検査学
委員	中西 宏明	順天堂大学医学部法医学研究室
委員	橋谷田 真樹	関西医科大学法医学講座
委員	桑 克彦	(一社)臨床検査基準測定機構
委員	堤 正好	株式会社 エスアールエル マーケティング部門(現在 日本衛生検査所協会)
委員	奥野 欣伸	テルモ株式会社
委員	麻生川 稔	日本電気株式会社
委員	宮木 香代	株式会社 エクシール
委員	川島 正規	株式会社 エクシール
委員	伊藤 敦	株式会社イナ・オプティカ
委員	富澤 隆章	富士フイルム和光純薬株式会社
委員	後藤 仁	株式会社アクティス
委員	畑 慎一	アルコール検知器協議会(光明理化学工業株式会社)
委員	酒井 規光	アルコール検知器協議会(中央自動車工業株式会社)
委員	坂口 正一	アルコール検知器協議会(サンコーテクノ株式会社)
委員	川畑 孝敬	アルコール検知器協議会(フィガロ技研株式会社)
委員	河口 智博	アルコール検知器協議会(フィガロ技研株式会社)
委員	町田 幸雄	日本適合性認定協会 認定センター
委員	関口 和正	科学警察研究所法科学第一部
委員	安野 拓也	科学警察研究所法科学第二部機械研究室
委員	柘 浩一郎	科学警察研究所法科学第四部科学
委員	山室 匡史	科学警察研究所法科学
委員	藤浪 良仁	警察庁・刑事局
委員	堀井 孝史	警察庁・刑事局
委員	林 昌也	警察庁・刑事局
オブザーバー	加藤 二子	経済産業省産業技術環境局 国際標準課
オブザーバー	上原 知子	経済産業省産業技術環境局 国際標準課
事務局	加藤 英夫	日本臨床検査標準協議会事務局
事務局	関 顯	日本臨床検査標準協議会事務局

資料Ⅱ

文書番号	英語規格名称	日本語規格名称*	審議状況
ISO 18385 : 2016	Minimizing the risk of human DNA contamination in products used to collect, store and analyze biological materials for forensic purposes-Requirements	法科学目的の生物試料(資料)を収集、保管と分析する為に使用する製品におけるヒト DNA 汚染のリスクの最小限化 一要求事項	2016-01-28 IS 発行
ISO 21043-1: 2018	Forensic Sciences -- Part 1 : Terms and definitions	法科学一第1部:用語と定義	2018-08-09 IS 発行
ISO 21043-2: 2018	Forensic Sciences -- Part 2 : Recognition, recording, collecting, transport and storage of items	法科学一第2部:試料(資料)の確認、記録、収集、輸送と保管	2018-08-29 IS 発行
ISO/CD 21043-3	Forensic Sciences -- Part 3 : Analysis	法科学一第3部:分析	2019-06-06 CD の登録
ISO/CD 21043-4	Forensic Sciences -- Part 4 : Interpretation	法科学一第4部:解釈	2019-06-06 CD の登録
ISO/CD 21043-5	Forensic Sciences -- Part 5 : Reporting	法科学一第5部:報告	2019-06-06 CD の登録
ISO/PWI 24436	Breath alcohol concentration	アルコール測定システム一第一部一呼気アルコール濃度の要求事項と検査方法	2019-06-12 新規プロジェクト案の審議